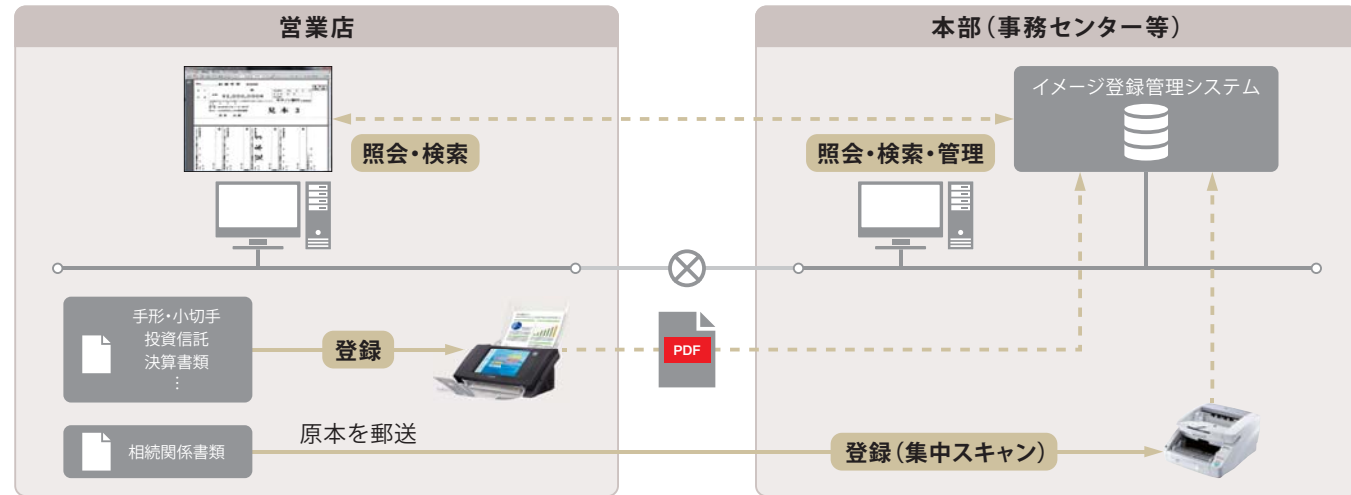


導入システム

イメージ登録管理システム

帳票・文書を、営業店・本部のスキナーでイメージ登録し、本部のサーバーで集中管理を実現します。登録されたイメージデータは、営業店・本部のネットワーク上にあるPCから検索・照会が可能です。イメージ登録管理システム「SFS」のわかりやすいインターフェースが、スムーズなデータ活用をサポートします。



関連ソリューション

ScanFront 400

PC不要で、タッチパネル操作で文書の電子化・送信するネットワークスキャナーです。ジョブボタン登録により、定型業務のワンタッチ実行を可能にします。

- ・カラー 45枚/分
- ・白黒 45枚/分
- (ともにA4タテ・200dpi時)



imageFORMULA DR-G1130

カラー・白黒ともに毎分130枚 (A4ヨコ・200/300dpi時) の高速読み取りと、最大500枚の大容量給紙で、膨大なスキャン業務を効率化するドキュメントスキャナーです。

- ・カラー 130枚/分
- ・白黒 130枚/分
- (ともにA4ヨコ・200/300dpi時)



SFS Lite PLUS

金融機関の多様な帳票・書類を一括管理する、イメージ管理システムです。ジョブボタンの設定により習熟度を要せず簡単に書類を記録でき、検索時は属性表示により目的のファイルを容易に特定できます。

●Canon、Canonロゴはキヤノン株式会社の登録商標です。●本紙に記載されている会社名、商品名は、一般に各社の登録商標または商標です。●記載の内容は2016年12月現在のものです。●弊社の都合により予告なく変更させていただく場合がありますのでご了承ください。

製品に関する情報はこちらでご確認いただけます。



キヤノン ビジネスソリューション ホームページ
canon.jp/solution

キヤノン 導入事例一覧

canon.jp/solution-case

Canon キヤノンマーケティングジャパン株式会社

●お求めは信用のある当社で

2016年12月現在

Solution Report

ソリューション
レポート

福井信用金庫 様

導入事例

帳票・文書を営業店で電子化 & 本部で集中管理する 高拡張性の「イメージ登録管理システム」を導入

Client Profile



福井信用金庫

福井信用金庫

本社所在地：福井県福井市田原2-3-1

創業：昭和5年8月15日

店舗：55店舗

従業員数：689人

※平成28年11月30日現在

業種 金融業



ソリューションのあらすじ

文書管理・検索の効率を高め、業務負担のスリム化を図る

福井信用金庫は、福井県北部を中心に「笑顔を咲かせるチカラになりたい。」というメッセージのもと、地域事業・経済の発展と、地域住民の豊かな生活づくりに貢献すべく、幅広い金融サービスを提供している。

同金庫では、帳票・文書管理、本部-各営業店間の情報共有などのソリューションとして、キヤノンの「イメージ登録管理システム」を導入。本部・各営業店に設置した約60台のネットワークスキャナーから帳票・文書をイメージ登録し、本部で集中管理する体制を構築した。幅広い業務にシステムを活用し、手形・小切手、相続関連書類、融資稟議書をはじめとする帳票・文書の保管スペース削減、検索の効率化を実現し、業務時間の短縮、業務のスリム化に貢献している。

課題

- ・帳票別に専用機でイメージ化、更改期のコスト負担が大きい
- ・帳票/文書を紙やCDで保管、管理・検索が非効率

効果

- ・汎用性に優れたシステムを幅広い業務で活用 & トータルコスト削減
- ・帳票/文書の管理・検索を効率化し業務のスリム化にも貢献
- ・FAXの代わりにスキャナーを活用し本部-営業店間の連絡業務を効率化

導入の決め手

- ・システムの拡張性とユーザー目線の提案力
- ・同じサーバー環境を保有したサポート体制



執行役員 福井第一ブロック長
本店営業部長
東 俊郎 氏
(導入時: 事務部長)



総合企画部 主計課
次長
北出 貴宏 氏
(導入時: 事務部 事務指導課 次長)



本店営業部
久保 通 氏

Phase - 01

【 導入の経緯 】

課題の包括的解決に向けて 専用機から、汎用性の高いシステムへ

福井信用金庫が「イメージ登録管理システム」を導入するきっかけは、各営業店で使用してきた手形・小切手転記システムが更改時期を迎えたためだった。執行役員の東氏は「持出す手形・小切手は専用機でイメージ登録し、CD等のメディアで保管していたため、検索には時間を要していました。」と従来のワークフローの課題を語る。加えて「各企業の決算書類などは各営業店が紙媒体で保管しており、保管スペースの確保にも苦慮していました。」と当時を振り返る。さまざまな課題を包括的に克服するために、専用機の買い替えではなく、幅広い業務で活用できるシステムの提案を複数のベンダーに依頼した。



Phase - 02

【 導入の決め手 】

ユーザーの目線に立った システムづくり&サポート体制

キヤノンは、各営業店にネットワークスキャナーを設置して文書をイメージ登録し、本部のサーバーで集中管理するシステムを提案。各種帳票・文書の検索もPCからスムーズに行える。東氏は、キヤノンを選んだ理由に、ユーザー目線の提案力とシステムの拡張性を挙げた。「私共が解決すべきことをダイレクトに話していただけた。また、各種追加帳票のイメージ化など私共の要求にも速やかに対応していただいた。」と語る。

また、サポート体制も選考の大きな決め手になったという。今回の導入システム開発元で、キヤノンとアライアンスを組む立山システム研究所では、顧客と同様のサーバー環境を保有して保守対応を行っている。「こちらで異例な事象が発生した時に、電話のやり取りで迅速に確認し、原因を説明していただけるので、スムーズに予定通り運用を開始できました。」とシステム構築・運用を担当した北出氏は、保守体制に安心感があると話してくれた。

Phase - 03

【 導入の成果 】

効率的なワークフローが営業店業務のスリム化に貢献

「イメージ登録管理システム」の導入後、まずは「手形・小切手」、その後は「相続関連書類」、「融資稟議書」、「決算書類」をイメージ化して一括管理するワークフローが構築された。融資稟議書をイメージ化していた専用機も更改時期を迎えていたが、このシステムに組み込むことでコストを削減できたという。北出氏は「データ検索の時間が短縮され、より迅速な対応が可能になりました。また、本部-営業店間の送付による書類紛失リスクや、営業店で保管する紙媒体、綴り込み事務が削減できている。」と導入の成果を感じているという。実際に手形・小切手のイメージ登録を担当する久保氏も「登録も照会もスムーズに行えるようになり、業務負担も減った。」と営業店の評価も上々だという。

さらに、「投資信託」受付におけるシステム活用は現在試行中だが、「本部とFAXでやり取りしてきた業務ですが、スキャナーの方が早く、話し中で繋がらないこともない。」と東氏が話すように、締切時間にシビアなこの業務でも効果的な活用が見込まれている。



Phase - 04

【 今後の展望 】

「FAX誤送信の防止」や「伝票の電子化」 ニーズに合わせて、システム拡張は続く

運用開始から1年半。新システムに様々な業務を組み込み、帳票・文書管理の効率化、業務のスリム化に取り組んできた福井信用金庫では、今後もさらなる拡張を進めていくという。

「FAXの代わりに、本部-営業店間の問い合わせ業務で活用することで迅速化が図れる。システムを通じて多

様な業務をより良く変えていくことで、営業店が本来の業務に時間を使えるようになれば。」と北出氏は語る。東氏は「現在試行中の『投資信託の受付』をはじめ、『FAX誤送信の防止』や『伝票の電子化』など有意義なご提案をいただきたい。」とさらなるシステム拡張にむけて期待の大きさを語ってくれた。

USER'S
VOICE



※写真の商品は「ScanFront 330J」

操作時間が短縮され、
送信先を間違える心配もないですね

本店営業部 久保 通 氏

「イメージ登録管理システム」は動作が速く、手形・小切手のイメージ登録に掛かる時間が短縮されました。誰でも、どのPCからでも照会が可能になりとても便利です。また、投資信託書類は役員立会いのもとFAXの送信先(本部)確認が不可欠でしたが、スキャナー画面のボタン一つで送れるので、間違える心配がなく、急いでいる時などに大きなメリットを感じます。